■　農作物の生育状況と今後の対策等

平成３０年５月１７日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

Ⅰ　土地利用型作物

１　水稲

（１）生育の状況

管内のは種最盛期は４月１５日で平年並（平年：４月１６日）であった。

は種後は、風の強い日や極端な高温・低温など気象変動が激しかったため出芽の不揃いや苗立枯病等の発生が散見されたものの、概ね生育は順調であった。

（２）今後の対策等

適正な育苗管理：田植え５～７日前は、夜間も除覆して外気に慣らす。
適　期　田　植：なるべく、温暖で穏やかな日に行う。
適期除草剤散布：雑草の種類を確認し、使用適期に散布する。

２　小麦

（１）生育の状況

5月10日現在の生育は、草丈は平年より短く、茎数は平年より多い。一部排水不良地では、生育不良が見られる。

うどんこ病、赤さび病の発生は見られない。

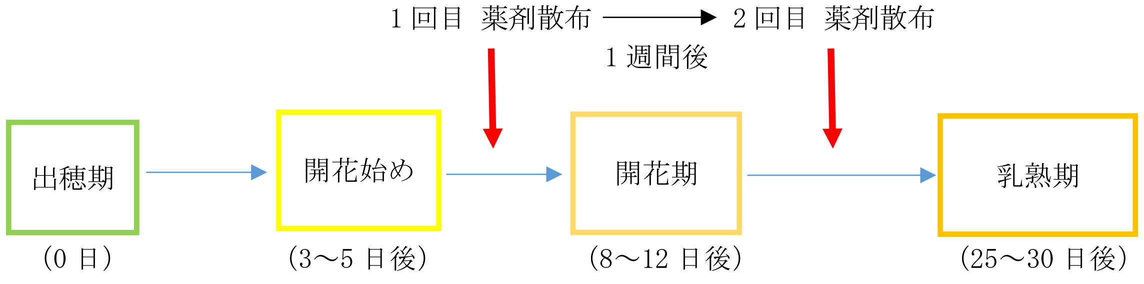
調査地点：八戸市市川町　品種：ネバリゴシ

年次	播種日	草丈(cm)	茎数(本/m²)	出穂期
本年	10 月 5 日	40.9	660	－
前年	10 月 1 日	60.3	603	5 月 19 日
平年	9 月 26 日	62.6	561	5 月 16 日

※平年は、Ｈ２７～２９の平均値

（２）今後の対策等

開花期の赤かび病防除



Ⅱ　野菜

１　ながいも

（１）生育の状況

トレンチャー耕、植付け作業が順次行われている。

（２）今後の対策等

植え溝を耕起したら、土壌水分が十分あるうちに順次早めに植え付ける。

土壌消毒を行う場合は、処理時の土壌水分の過多に注意し、処理後、直ちに被覆処理を行う。

２　ねぎ

（１）生育の状況

早い作型は周期的な降雨、強風の日があったものの、定植作業はおおむね順調に行われた。不織布を利用した早い作型の生育は平年並で、５月初めに不織布は除覆されている。

（２）今後の対策等

病害虫の適期防除を行う。

今後の定植作業は畝が崩れないように、なるべく降雨後に行う。

ほ場が乾燥している場合は、かん水または葉面散布剤を活用する。

３　にんにく

（１）生育の状況

県及び地区生育観測ほの生育は、平年に比べて、草丈が高く、茎径はやや細く、生葉数は平年並であった。病害虫は春腐病及びさび病が散見され、地上部に対し地下部の生育が弱いことが原因と思われる葉先の黄化が一部のほ場で見られた。

表 にんにく生育調査結果（５月１０日現在）　※平年値５月１０日、２０株調査

場所	年次	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈（cm）	生葉数（枚）	茎径（mm）
五戸	本年	9月29日	透明肩銀	4/18	71.3	8.6	20.0
	平年比			３日早い	108%	107%	104%
（越掛沢）	前年	9月25日		4/18	69.7	9.1	20.0
	平年			4/21	65.9	8.1	19.2
旧倉石	本年	10月1日	黒	4/19	73.2	7.9	16.1
	平年比			３日早い	114%	103%	86%
（石沢）	前年	10月1日		4/17	72.5	8.3	18.5
	平年			4/22	64.0	7.6	18.7
新郷	本年	10月5日	ｸﾞﾘｰﾝ無穴	4/21	54.7	7.0	16.1
	平年比			１日早い	86%	91%	90%
（扇ノ沢）	前年	10月6日		4/19	62.8	7.9	17.6
	平年			4/22	63.8	7.7	17.9
田子	本年	10月2日	グリーン	4/20	62.5	7.9	19.3
	平年比	６日早い		３日早い	100%	103%	108%
（日ノ沢）	前年	9月28日		4/18	63.3	7.9	16.3
	平年	10月8日		4/23	62.7	7.7	17.9

注）平年値について
五　戸：H13年～H29年までの過去17年間の平均値　旧倉石：H16年～H29年までの過去14年間の平均値
新　郷：H16年～H29年までの過去14年間の平均値　田　子：H8年～H29年までの過去22年間の平均値

表 にんにく病害虫調査結果（５月１０日現在）　※１００株調査

場所	春腐病	さび病	葉枯病 黄斑病
五戸	0%	3%	0%
倉石	0%	2%	0%
新郷	0%	0%	0%
田子	0%	0%	0%

（２）今後の対策等

葉先の黄化が目立つほ場では、病害の防除と併せて、葉面散布剤を活用し、生育促進に努める。

病害は、降雨前の薬剤散布を徹底し、散布量は茎葉に十分かかる量を用意し、丁寧に散布する。

種子ほ場を中心に、ウイルス症状株の抜き取りやマーキングを実施する。

4　いちご（一季成り）

（１）生育の状況

５月に入り、収穫量は平年並となっている。

病害虫では、ハダニ類、オンシツコナジラミ、アザミウマ類、うどんこ病の発生が見られている。

（２）今後の対策等

枯葉・収穫後の果房を摘除する。ハダニ類、オンシツコナジラミ、アザミウマ類、うどんこ病の防除を徹底する。

5　ピーマン

（１）生育の状況

促成栽培は、４月２０日から苗の配布が始まり、４月３０日頃までに定植作業が終了し、生育は順調である。

半促成栽培は、５月９日から苗の配布が始まり、ほ場水分を確認しながら定植が行われている。

普通栽培は、５月１８日から苗配布の予定。

（２）今後の対策等

天候にあわせて、不織布トンネルの開け閉めを行い、適切に温度管理する。